

## 環境研究機関連絡会連絡先

独立行政法人防災科学技術研究所  
アウトリーチ・国際研究推進センター アウトリーチグループ  
〒305-0006 つくば市天王台3-1  
TEL:029-863-7768 FAX:029-851-1622

独立行政法人物質・材料研究機構 企画部門戦略室  
〒305-0047 つくば市千現1-2-1  
TEL:029-859-2020 FAX:029-859-2025

独立行政法人農業環境技術研究所 連携推進室  
〒305-8604 つくば市観音台3-1-3  
TEL:029-838-8181 FAX:029-838-8199

独立行政法人森林総合研究所 企画部研究企画科  
〒305-8687 つくば市松の里1  
TEL:029-829-8113 FAX:029-874-8507

独立行政法人水産総合研究センター 研究推進部  
〒220-6115 横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワー B 15F  
TEL:045-227-2679 FAX:045-227-2700

独立行政法人産業技術総合研究所  
環境・エネルギー分野研究企画室  
〒305-8568 つくば市梅園1-1-1 中央第2  
TEL:029-862-6033 FAX:029-862-6048

国土交通省気象庁気象研究所 企画室  
〒305-0052 つくば市長峰1-1  
TEL:029-853-8532 FAX:029-853-8545

国土交通省国土技術政策総合研究所 企画部企画課  
〒305-0804 つくば市旭1  
TEL:029-864-2674 FAX:029-864-1527

独立行政法人建築研究所 企画部企画調査課  
〒305-0802 つくば市立原1  
TEL:029-879-0638 FAX:029-864-2989

独立行政法人港湾空港技術研究所 企画管理部企画課  
〒239-0826 横須賀市長瀬3-1-1  
TEL:046-844-5040 FAX:046-844-5072

独立行政法人土木研究所 企画部研究企画課  
〒305-8516 つくば市南原1-6  
TEL:029-879-6751 FAX:029-879-6752

独立行政法人国立環境研究所 企画部企画室  
〒305-8506 つくば市小野川16-2  
TEL:029-850-2303 FAX:029-851-2854

国立大学法人筑波大学 研究推進部研究企画課  
〒305-8577 つくば市天王台1-1-1  
TEL:029-853-2921 FAX:029-853-6011



## 会場

一橋大学 一橋講堂 (学術総合センター内)  
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

### 【アクセス】

東京メトロ半蔵門線／都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」  
A9出口から徒歩3分  
東京メトロ東西線「竹橋」1b出口から徒歩4分

## 参加登録

<https://www.omc.co.jp/kankyokenkyu/>  
事前申込制(先着順)

## お問合せ

環境研究機関連絡会 事務局

独立行政法人物質・材料研究機構 企画部門戦略室  
〒305-0047 つくば市千現1-2-1 TEL:029-859-2020 FAX:029-859-2025

独立行政法人防災科学技術研究所  
アウトリーチ・国際研究推進センター アウトリーチグループ  
〒305-0006 つくば市天王台3-1 TEL:029-863-7768 FAX:029-851-1622

# 第12回 環境研究シンポジウム 気候変動と科学技術

## 考えよう地球の未来!



参加費  
無料

日時 平成26年11月18日(火)  
12:00~17:45

会場 一橋大学 一橋講堂 (学術総合センター内)  
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

主催:環境研究機関連絡会

# 講演プログラム

〈一橋大学 一橋講堂〉

13:00 開会挨拶

独立行政法人物質・材料研究機構 理事長 潮田 資勝

13:10 ① 海面が冷えると貯まる海の熱

独立行政法人産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門  
大気環境評価研究グループ  
上級主任研究員 田口 彰一

13:25 ② 気候変動の影響と適応策

独立行政法人国立環境研究所  
社会環境システム研究センター  
環境都市システム研究室長 脇岡 靖明

13:40 ③ 巨大火山噴火が気候・生態系へ及ぼす影響  
—地球システムモデルによる予測—

国土交通省気象庁気象研究所 気候研究部 第一研究室  
主任研究員 小畑 淳

13:55 ④ 北極海の海氷融解は  
海洋生態系にどう影響するか?

国立大学法人筑波大学  
生命環境系長 教授 白岩 善博

14:10 ⑤ 全国港湾海洋波浪観測長期データに基づく  
日本沿岸の季節別波浪特性の経年変化

独立行政法人港湾空港技術研究所  
海洋情報・津波研究領域  
海象情報研究チームリーダー 川口 浩二

14:25 ⑥ 気候変動適応に向けた  
水害ハザード・リスク評価

独立行政法人防災科学技術研究所  
災害リスク研究ユニット  
主任研究員 大楽 浩司

14:40 ⑦ アジアの水災害リスクの評価

独立行政法人土木研究所  
水災害・リスクマネジメント国際センター 水災害研究グループ  
上席研究員 徳永 良雄

14:55 休憩(15分間)

15:10 ⑧ 治水システム理解の深化と気候変動適応

国土交通省国土技術政策総合研究所  
気候変動適応研究本部(河川研究部 水防災システム研究官)  
深見 和彦

15:25 ⑨ 気候変動による森林植生への  
影響評価と森林適応策

独立行政法人森林総合研究所 植物生態研究領域  
チーム長(気候変動影響担当) 松井 哲哉

15:40 ⑩ 気候変動と21世紀の農業・食料生産技術

独立行政法人農業環境技術研究所  
研究コーディネーター 八木 一行

15:55 ⑪ 気候変動に対する漁業資源の応答と  
水産業の適応

独立行政法人水産総合研究センター  
日本海区水産研究所 資源管理部  
資源管理グループ長 木所 英昭

16:10 ⑫ 近年の竜巻災害に基づく  
建築物の被害発生メカニズムの解明

独立行政法人建築研究所 構造研究グループ  
主任研究員 喜々津 仁密

16:25 ⑬ 低炭素化社会を実現する  
耐熱・耐環境材料の開発

独立行政法人物質・材料研究機構 環境・エネルギー材料部門  
先進高温材料ユニット長 黒田 聖治

16:40 ⑭ 地球温暖化の緩和策と低炭素社会

独立行政法人国立環境研究所  
社会環境システム研究センター  
フェロー 甲斐沼 美紀子

16:55 閉会挨拶

国立大学法人筑波大学 生命環境系長 教授 白岩 善博

## ポスター発表〈中会議場 1・2・3・4〉

● 各研究機関8題程度 合計100題程度

展示時間 12:00~17:45

発表時間 12:00~12:45 17:00~17:45

## 環境研究機関連絡会とは…

今日発生している様々な環境問題を解決するためには、各専門領域にとどまることなく、これらを包含した総合的視点から、各専門分野の研究を推進する必要があります。

また、環境研究に関する多様なニーズに応え、効果的、効率的な研究を推進していくため、新たな情報交換の場を設け、より一層、連携・協力を緊密にしていくことが不可欠となっています。

そこで、環境研究に携わる国立、独立行政法人及び国立大学法人の研究機関が情報交換し、環境研究の連携を緊密にするため、「環境研究機関連絡会」が平成13年に設置されました。

連絡会では、

① 環境研究の推進状況の紹介と相互理解

② 環境研究の主要成果の紹介

③ 環境研究の協力・連携・連絡

などを行っています。

環境研究機関連絡会は平成26年10月現在以下の機関で構成されています。

独立行政法人防災科学技術研究所  
独立行政法人物質・材料研究機構  
独立行政法人農業環境技術研究所  
独立行政法人森林総合研究所  
独立行政法人水産総合研究センター  
独立行政法人産業技術総合研究所  
国土交通省気象庁気象研究所  
国土交通省国土技術政策総合研究所  
独立行政法人建築研究所  
独立行政法人港湾空港技術研究所  
独立行政法人土木研究所  
独立行政法人国立環境研究所  
国立大学法人筑波大学